



		<p><b>訪問先:</b> 滝上町庁舎、ホテル溪谷、濁川製材</p> <p><b>審査内容:</b> (1)本プロジェクトが、プロジェクト計画書及び同別紙モニタリング計画書並びに<b>モニタリング報告書(Ver.1.1)</b>記載の通り実施されているかの確認を現地視察、プロジェクト関係者へのインタビューにより実施。特に、モニタリング体制、購買伝票等のデータの確認状況、並びに QA/QC 体制について確認した。 (2)モニタリング報告書記載の算定結果を集計データによってチェックすると共に、その適格性(適用デフォルト値を含む)、購買伝票等の確認記録について検証を行った。特に、                  &lt;ベースライン排出活動&gt;                  木質チップの使用量、同水分量及び単位発熱量他                  &lt;プロジェクト排出活動&gt;                  木質チップの販売実績量、電力使用量他</p>				
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009 (2010/1/1～)	2010 (～12/31)	2011	2012
	t-CO2	—	282		—	—
検証結果の要約		<p>JACO CDM は、町内の公共施設である「たきのうえホテル溪谷」に木質チップを燃料とするチップボイラーを平成 21 年 2 月 17 日から導入し、その結果として化石燃料から脱却したエネルギー利用を推進し、二酸化炭素排出量を低減させることで地球温暖化防止に寄与することを目的とする本プロジェクトにおいてモニタリング期間(2010 年 1 月 1 日～2010 年 12 月 31 日)における温室効果ガス排出削減量を検証した。</p> <p>検証の結果、本プロジェクトに関する「<b>モニタリング報告書(Ver.1.1)</b>」は、「モニタリング方法ガイドライン(排出削減プロジェクト用) Ver3.0」、及び方法論(E001「化石燃料から未利用の木質バイオマスへのボイラー燃料代替」Ver.6.0)に準拠していることを確認した。</p> <p>また、同報告書に記載された温室効果ガス排出削減量282t-CO<sub>2</sub>は、プロジェクト計画書及びモニタリング計画書に基づいて算定されており、J-VER制度妥当性確認・検証ガイドラインVer2.0に規定する重要性の判断基準である5%以内であることを確認した。</p> <p>以上のことから、検証意見は無限定適正意見であることを表明する。</p>				

<sup>1</sup> 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。